

平成 30 年度活動報告書

特定非営利活動法人 そらしど

1. 活動の概要

今年度一番大きな活動としては、公益財団法人社会福祉弘済会様からの助成金により、医療的ケアが必要な子どもをもつ家族の生活全般に関するヒアリング調査研究と3月9日に報告会を行いました。さらに認定NPO法人しみん基金 KOBE 様からの助成金により、その報告会を講演会付きで大きな会場で実施することができました。講演会は、医療的ケアが必要な娘さんがおられ、絵本作家でありラジオパーソナリティもしておられます脇谷みどり氏にお越しいただきました。会場では18トリソミーの子ども達の写真展も一緒に行いました。ヒアリング調査は、16名の方にご協力いただきましたが、その中で、課題の多さと深刻さを実感するとともに、いただいた貴重なお話をどうまとめたらいいいのか、本当に悩みました。また、まだまだ知られていない医療的ケアが必要な子のご家族の実態をできるだけ多くの方に知っていただくにはどうしたらいいのか、実際に私達に何ができるのか、今も答えが見いだせないままです。そらしどとしてできることは、微力ではありますが、この課題に今後も取り組んでいきたいと思っています。次年度には医療的ケアが必要な子どもやご家族への支援に関する交流会を開催することが決まっており、引き続き検討していきます。

ワークショップや座談会や上映会の開催、キャラバン隊は3か所で実施できました。今年度も神戸市のアドバイザー派遣事業を利用させていただき、アドバイスを受けながら活動をしてきました。

4月4日には『女ちから開花フェス in あかし』にて、ハンドスタンプブースとして出展し、Hand Stamp Art Project の手形集めとそらしどのPRを行いました。



2. 保護者が元気になるワークショップ事業について

糸かけ曼荼羅1回、「1/4の奇跡」上映会1回、夏休み親子シンギングボウル音浴会、進路座談会、コミュニケーション勉強会、医療的ケア座談会を開催し、のべ73名の保護者（親子）や支援者の方が参加しました。



3. 障がい児について広く知ってもらふ模擬体験を含むキャラバン隊活動の事業について

神戸親和女子大学に2回、神戸市立友生支援学校に1回講座を開催することができました。次年度は6月にコープこうべ主催で開催させていただく予定です。身体障害についてのプログラム化がまだであり、今年度医療的ケアについても必要性を感じたので、そのことについても含めてプログラム化ができればと考えており、さらなるブラッシュアップをしていきます。



4. 事業実施体制

1) 会議に関する事項

理事会：2回　定例会議：7回　医療的ケア会議：12回　キャラバン隊会議：2回
臨時会議：2回　会計講座参加：6回

2) 会員（平成30年度）

正会員：19名　賛助会員：23名